

CIGSシンポジウム 『社会福祉法人制度の改革を考える』

<シンポジウム開催の趣旨>

規制改革会議で介護事業・保育所を巡る規制緩和が重要テーマとなっている。これは、介護事業・保育所の中心的経営主体である社会福祉法人の業務を株式会社等に一層開放することが狙いである。また規制改革会議では、社会福祉法人のガバナンス改善と財務諸表公開徹底を提言する方向にある。これを踏まえて厚生労働省も「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」を設置、全ての社会福祉法人の財務諸表を集めて国民に情報開示する意向の様である。その結果、2000年の社会福祉基礎構造改革に続く第二次改革の議論が来年本格化すると予想される。この動きに対して業界関係者の関心も高い。そこで、社会福祉法人制度の改革を想定した論点整理を行う。

<開催概要>

日 時： 2013年12月6日（金） 13：00 - 17:00

会 場： 新丸ビル9F コンファレンススクエア901 （東京都千代田区丸の内1-5-1）

参加費： 無料 ・ 定 員： 120名

<プログラム>

13:00 - 13:05 理事長挨拶

- ・ 福井 俊彦（キヤノングローバル戦略研究所 理事長）

13:05 - 15:00 第一部：講演（4名） 登壇順

- ・ 堤 修三（元・大阪大学大学院人間科学研究科 教授、元・厚生労働省老健局長）
「2000年社会福祉基礎構造改革の忘れ物」
- ・ 松山 幸弘（キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹）
「社会福祉法人の財務データ集計結果から見える課題」
- ・ 松原 了（社会福祉法人恩賜財団済生会 理事）
「済生会の中期事業計画と将来ビジョン」
- ・ 浦野 正男（全国社会福祉法人経営者協議会総務委員長、社会福祉法人中心会理事長）
「これからの社会福祉法人が果たすべき役割」

15:00 - 15:15 休憩（15分）

15:15 - 16:55 第二部：パネルディスカッション

モデレーター・大田 弘子

（政策研究大学院大学 教授、規制改革会議議長代理、元経済財政政策担当大臣）

16:55 - 17:00 閉会

講演者略歴（五十音順）

浦野正男

全国社会福祉法人経営者協議会総務委員長、社会福祉法人中心会理事長

昭和58年より社会福祉法人中心会。施設長、本部事務局長専任を経て、平成17年理事長に就任。全国社会福祉施設経営者協議会・青年経営者会（平成7年～平成15年）にて研修企画部会長、副会長、会長を歴任。全国社会福祉施設経営者協議会（平成9年～）にて協議員、常任協議員、総務委員長等を就任。全国社会福祉協議会・政策委員会幹事。

著書に「よくわかる社会福祉施設」（共著）全国社会福祉協議会 1998年、「介護保険キーワード事典」（共著）中央法規出版 2001年、「新・社会福祉士養成講座／福祉サービスの組織と経営」（共著）中央法規出版 2009年、「社会福祉学習双書／社会福祉概論Ⅱ」（共著）全国社会福祉協議会 2009年、「社会福祉施設経営管理論」（共著）全国社会福祉協議会 2009年。

堤修三

元・大阪大学大学院人間科学研究科教授。元・厚生労働省老健局長

1971年 厚生省入省。老人保健福祉局企画課長・大臣官房会計課長などを経て

1998年 厚生大臣官房審議官（介護保険制度実施推進本部事務局長）

2001年 厚生労働省老健局長

2002年 社会保険庁長官。

2003年 厚生労働省依願退官

同 年 大阪大学 大学院人間科学研究科（社会保障政策論）

2013年 大阪大学定年退職

松原了

社会福祉法人恩賜財団済生会理事

昭和49年慶応義塾大学医学部卒業、同大学医学部外科学教室勤務。

国立松戸病院等外科医長、国立がんセンター運営部企画室長、厚生省保健医療局老人保健部老人保健課、島根県環境保健部長、厚生省健康政策局計画課医療計画推進指導官、茨城県衛生部長、厚生省薬務局監視指導課長、厚生省保健医療局国立病院部政策医療課長、神奈川県衛生部長、厚生省生活衛生局食品保健課長、厚生労働省関東信越厚生局長、中国四国厚生局長、独立行政法人国立病院機構理事（医療担当）を経て、平成18年より社会福祉法人恩賜財団済生会理事。

松山 幸弘

キヤノングローバル戦略研究所研究主幹。オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学医学部臨床ガバナンス研究センター客員研究員。

1975年3月東京大学経済学部経営学科卒業、1992年2月著作「米国の医療経済」で九州大学から経済学博士号取得。1975年4月～1999年3月生命保険会社に勤務。その後富士通総研経済研究所主席研究員、民間医療法人専務理事、総合病院国保旭中央病院顧問等を経て、2009年4月よりキヤノングローバル戦略研究所主席研究員。2011年1月より現職。内閣府規制改革会議健康・医療ワーキンググループ専門委員、厚生労働省「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」委員。

モデレーター略歴

大田 弘子

政策研究大学院大学教授。規制改革会議議長代理。元経済財政政策担当大臣。

1976年一橋大学社会学部卒。埼玉大学助教授等を経て、97年より政策研究大学院大学助教授、2001年同教授。2002年から内閣府参事官、審議官、政策統括官（経済財政分析担当）。2005年に大学復帰の後、2006年より安倍・福田両内閣のもとで、経済財政政策担当大臣を務める。2008年8月政策研究大学院大学教授（現在に至る）。

著書に「改革逆走」2010年（日本経済新聞出版社）、「経済財政諮問会議の戦い」2006年（東洋経済新報社）、「良い増税、悪い増税」2002年（同）、「リスクの経済学」1995年（同）等。